

みんなが育てる みんなが育つ



# 青南だより

令和6年 2月号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

## <冬の園庭の自然との関わり>

昨年夏は気温が高い状態が続き、園庭のカエデの色付きや落葉にも影響が出ました。年明けにはほとんどの葉っぱが落ち、子どもたちはそれを集めては、投げ上げたり、落ち葉の温泉にして遊んだりしていました。きれいなカエデの葉っぱに松の葉を刺してアクセサリーづくりをするという新しい遊びを考えた子もいました。数日遊び尽くして、粉々になったところで裏庭の土工場に運んで腐葉土になるのを待ちます。

## <いろいろな食材を味わう>

冬の野菜は年少組がカブを、年長組はカリフラワーを収穫し味噌汁やスープにいただきました。年中組は親子でダイコンの世話をし収穫への期待を高めています。家庭では食べない野菜も園で育てた野菜は喜んで食べていて、栽培活動の意味を再確認しました。また、先日、年長組は全員が配達弁当を注文し、みんなで同じメニューを味わい、ちょっと小学生気分を味わいました。2月には1年生との交流も予定しており、少しずつ小学校への入学への期待が高まっているところです。

## <よりよい保育実践を目指して>

年末には、保護者向けの園評価アンケートと年長児にも子どもアンケートを実施し、園としての総合的な振り返りをしました。反省・評価と区としての施策も受けて、来年度の教育課程の編成に向けての作業を進めています。今年度の成果や課題を踏まえつつ、多様性の重視や親子での直接体験の共有などを大切にしたいと思っています。3月8日（金）に全体保護者会で詳細をお伝えします。最後の全体保護者会なので、対面で実施します。時間などは行事予定をご覧ください。

・・・如月（きさらぎ）・・・

りっしゅん

立春（4日）… フキノトウが顔を出し始めます …

うすい

雨水（19日）… コブシのつぼみがふくらんできます …

例年この時期には空気が乾燥し、わくわく池の水が蒸発して水位が下がって枯れてきます。池でヤゴやタニシを探していた子たちが、先日そのことに気づき、砂場のバケツに水を汲んで何度も運ぶ人海戦術を繰り返しました。何度も運ぶ中でベビーバスを使うことを思いつき、たっぷり水を入れてみんなで運び、何とか水位を上げることができました。

節分で豆をまいて鬼を追い払うと立春を迎えます。年長児は秋葉神社の節分祭にも参加する予定です。寒さの中でも少しずつ春の足音を感じながら1年間のまとめをする季節です。

青南の  
二十四節気



園庭の落ち葉を土工場で腐葉土にします



大きくなったカブを抜いてみよう！



みんなで配達弁当を食べて、小学生気分



わくわく池にみんなでたくさん水を運びました



表参道駅近くにある秋葉神社の節分祭には年長児が参加予定です(写真は昨年の様子)